

## 4-3 協力要請方法のまとめ

以上までの調査結果を踏まえ、ヒートアイランド対策のうち人工排熱量の削減を目的とした“環境にやさしい行動（環境配慮行動）”を促進するための協力要請の視点について以下に整理する。

### 視点1；取り組みに対する抵抗要因を探り、抵抗感を解消する

※北九州市調査結果より

- ⇒ **a** 『断熱等の工事をする』、『超低公害車を購入する』等、開始時に大きな抵抗を示す行動は、経済的負担の軽減に資する情報の提供を行う。
- ⇒ **b** 行動継続時の抵抗感が行動開始時からあまり低下しない『冷房温度を28℃設定にする』『徒歩・自転車で移動する』、『こまめに電気を消す』等の取り組みは、簡単にでき、継続時に苦にならない取り組み方法に関する情報の提供を行う。

### 視点2；市民が取り組みたいことを把握し、ポイントを絞った協力要請をする

※大阪市調査結果より

- ⇒ **a** 『公共交通や自転車を利用する』、『電気をこまめに消す』といった、多くの人々が取り組んでみたいと考えている行動に絞った協力要請を行う。
- ⇒ **b** 女性は“節約”につながる取り組み、男性は“移動手段”に関わる取り組みに関心を示すといった、性別・年齢別関心の特性を踏まえ、協力要請を行う。

### 視点3；実践している環境配慮行動の理由を探り、その知見を有効活用する

※大阪市・北九州市調査結果より

- ⇒ **a** 『ベランダ・屋上を緑化する』は、趣味の一環として取り組めること、環境負荷軽減に寄与することを強調する。
- ⇒ **b** 『マイバックを持参する』、『待機電力を減らす』、『こまめに電気を消す』、『詰め替え用の商品を買う』などの協力要請には、経済的メリットを強調する。
- ⇒ **c** 『電車バスを利用する』、『冷房温度を28℃にする』などの協力要請には、“健康に良いこと”に加え“経済的メリット”を強調する。

### 視点4；習慣化している行動が環境に良いことを認知させ、継続性を確実にする

- ⇒ **a** “地域の風土にあった暮らし方”の環境負荷軽減への寄与をアピールする。
- ⇒ **b** “田舎暮らし”、“シンプルライフ”が環境にやさしいことを改めてアピールする。